

# 井上まい 通信

2023  
vol.16  
春号

公式HP



寄り添う政治  
で地域に尽くします!



## 井上まい1期目最後の議会 議案質疑に登壇!

2/17(金)~3/16(木)に2・3月議会が開かれ、井上まいは議会の初日会派を代表し、今年度最後の補正予算案に対して議案質疑を行いました。今回は、子育て政策に充てるための100億円の基金積み立ての議案と、世界水泳福岡大会の延期に伴う35億円の追加拠出に関する議案などについて取り上げました。

## アイランドシティ整備事業の黒字分150億円のうち100億円を子育て政策へ!?

12月議会で詳細を確認したアイランドシティ整備事業ですが、土地の売り払いで黒字となった150億円を子育て政策用のこども未来基金へ100億円積み立てるとする議案が提出されました。子育て政策を拡充することにはもちろん賛成ですが、100億円という額は仮に新年度予算で提案されている子育て施策(約50億円)をもとに計算すると約2年で使い切るくらいの規模となります。アイランドシティ整備事業は幸い黒字化に転じたわけですが、今回のように黒字化が期待できる事業は行政の行う事業ではほとんどありません。子育て支援の拡充が一時的なものにならないよう、今後は、子育て施策の拡充を継続させるために、安定的な予算の確保を要望しました。



当日の様子は動画でもご覧いただけます!



## 世界水泳福岡大会の延期で福岡市が35億円追加で負担!?

今回の2月補正で、スポーツ振興基金に35億円を積み立てるとする議案が提出されました。これは、今年の7月にマリンメッセを中心に開催される世界水泳の開催費用に関連する積み立てです。当初は2021年7月に開催される予定だった世界水泳福岡大会ですが、コロナウイルスの影響で2度の開催延期を余儀なくされ今年ようやく開催されることとなっています。この開催延期に伴い、事業費も膨れ、当初は総事業費の見込み約90~100億円のうちの市の負担が約35~40億円とされていたものが、今回の質問で最新の見込み額が総事業費約180~190億円、そのうち市の負担が約90~95億円ということで約2倍に膨れ上がっていることが分かりました。また、開催延期に伴う費用は、すでに建設していたプールなどの建設しなおよや、各種機材等のリース延長などが主なものであることが明らかになりました。事業費の縮減に努めることはもちろんですが、寄附金や協賛金のさらなる獲得や、国や県からの助成など可能な限りの収入確保に努め、本市の負担額がこれ以上膨れることがないように求めました。

世界水泳  
FUKUOKA  
2023年7月開幕



大会組織委員会提供

# 井上まい 1期4年間 議会での取り組み

井上まい1期目4年間で取り組んだ福岡市議会での質問をご紹介します! (一部抜粋)

<p>令和元年9月18日一般質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●女性活躍推進に向けた企業への支援策について</li> </ul>	<p>令和3年2月17日議案質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新型コロナウイルスワクチン接種について</li> <li>●健康観察等フォローアップ事業について</li> </ul>	<p>令和4年3月22日予算総会質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●温室効果ガス排出量の削減施策について</li> <li>●国際金融機能の誘致について</li> </ul>
<p>令和元年12月13日一般質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外国人観光客向け乗車券について</li> <li>●高齢者向け交通福祉ICカードについて</li> <li>●保育士確保のための支援について</li> </ul>	<p>令和3年3月24日予算総会質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域防災について</li> <li>●地場中小企業の経営支援について</li> <li>●融資にとどまらない経済支援について</li> <li>●スタートアップ支援について</li> </ul>	<p>令和4年6月14日議案質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下水道使用料の減免について</li> <li>●学校・保育所給食の物価高騰対策について</li> <li>●事業者への支援について</li> </ul>
<p>令和2年6月15日議案質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり親世帯への支援について</li> <li>●コロナ禍の学校の全面再開について</li> <li>●代替スポーツ大会開催支援について</li> </ul>	<p>令和3年6月15日議案質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活困窮者自立支援金について</li> <li>●全市版プレミアム付商品券事業について</li> </ul>	<p>令和4年9月26日決算総会質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スタートアップ都市宣言以降の施策効果について</li> </ul>
<p>令和2年9月24日決算総会質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校図書館の充実について</li> <li>●ひとり親世帯への経済的支援について</li> <li>●投票率向上のための取組みについて</li> </ul>	<p>令和3年10月6日決算総会質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●決算における財源確保について</li> <li>●事業者への経済支援策について</li> </ul>	<p>令和4年12月16日一般質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アイランドシティ整備事業について</li> </ul>



実現したものを一部ご紹介します!!

### 高齢者乗車券のポイント交付について

「高齢者乗車券のポイント交付を受けるのに、わざわざバスで500円くらい使って区役所までいかないといけない。区役所以外でも手続きができればいいのに...」

2019.12 一般質問  
区役所以外でも手続きができるように改善を要望

実現! オンラインや郵送で申請→区役所や地下鉄各駅、出張所などに設置された専用機械でポイントチャージが可能に!



### 期日前投票所の新設について

「投票所が遠くて、最近は選挙に行かなくなった。」「もっと投票しやすい環境にしてほしい。」

2020.9 決算特別委員会 総会質疑

区役所や市役所などにしか設置されていなかった期日前投票所を民間の商業施設などにも広げるよう要望

実現! 2022年11月実施の市長選挙において、イオンモールや、ららぽーとなどの民間施設での期日前投票が実現!



4/9実施予定の統一地方選挙でも期日前投票所になることが決まりました!

新しく期日前投票所となったイオンスタイル菅丘



### 井上まい プロフィール

1989年(平成元年) 福岡県生まれ  
 2008年(平成20年) 福岡県立明善高等学校卒業  
 2013年(平成25年) 九州大学 21世紀プログラム課程卒業  
 2015年(平成27年) 株式会社リクルートジョブズ入社  
 2018年(平成30年) 衆議院議員いなたみ修二 秘書  
 2019年(平成31年) 福岡市議会議員選挙初当選  
 所属会派: 福岡市民クラブ  
 所属委員会: 経済振興委員会  
 交通対策特別委員会



〒814-0155 福岡市城南区東油山1丁目1-16 東野ビル1F  
TEL.092-874-2601 FAX.092-874-2602

# 「会派基本政策2023」をまとめ、第1回定例会に臨む！

昨年9月に開催した「議会活動報告会」以後、福岡市民クラブ全員で議論を重ね、「会派基本政策2023（4分野67項目176施策）」をとりまとめました。本政策をもとに、令和5年第1回定例会における代表質問、各種予算の審議にあたってまいります。今号では、基本政策の4つの柱と分野別の取り組み項目についてお知らせします。



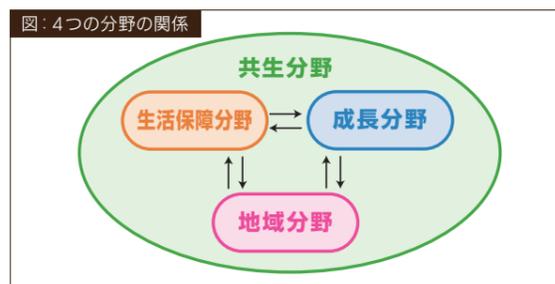
私たちのめざすまちづくり ～ 会派基本政策2023～

## 福岡市の「まちづくり」の4つの柱

日本の総人口が2008年をピークに減少に転じた中、福岡市は推計を上回るペースで人口増が続き、市税収入増をはじめ、九州全域からの若者・現役世代の転入に伴う労働力に支えられ、成長可能性が高く評価されてきました。しかし、少子高齢化の波は避けられず、福岡市も2035年頃をピークに人口減少に陥るとともに、年齢構成別に見ると65歳以上のみが増え続けると予測されています。2020年から感染拡大を続けた新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らしに大きな変化をもたらしました。世界規模の課題となっている気候変動、地球温暖化についても喫緊の対策が必要です。福岡市は、福岡県をはじめ九州、全国にも影響が及ぶ政令指定都市として、これらの課題に果敢に挑戦していかなければなりません。

私たち福岡市議会・福岡市民クラブは、社会・経済情勢が今後も激しく変化する中においても将来のあるべき姿を展望し、これからの4年間を見据えて、『生活保障』、『成長』、『地域』、『共生』の4つの分野を大きな柱として、これからの福岡市の「まちづくり」のため、福岡市政と福岡市議会のそれぞれに必要な取り組みを「会派基本政策2023」としてまとめました。

この4つの分野は、それぞれ相互に関係性を持ったものです。市民の暮らしを守る（＝生活保障）施策に充当するための財源を、本市の特性を踏まえた成長分野で新たに生み出す。



そして、生み出されたその財源を「地域（＝行政のパートナーシップ）」の観点から、これまで以上に市民の声を反映させる仕組みの下で分配していく。さらに、これらの健全な循環を支えるため、市民の力を高め合い、認め合うために必要な公共基盤の強化（＝共生）を図っていく。

このたび、このような都市経営の理念に基づき取りまとめた「会派基本政策 2023」の分野別の取り組み項目と具体策の一部について、市民の皆様にお示しします。

～ 一人ひとりの暮らしと幸せを大切に作る社会をめざす ～

## 生活保障分野

### 子ども期における愛と希望が抱ける子育て

- 保育・幼児教育の充実
- 放課後等の居場所づくり
- 女性の健康づくりと母親のケア
- 児童虐待の防止
- ワークライフバランスの推進
- ファミリー世帯の家計負担の軽減

### 安心と安らぎの高齢社会

- 健康寿命の延伸施策の充実
- 外出しやすいまちづくり
- 介護事業の活用支援
- 認知症サポート体制の強化
- 住み慣れた地域での暮らし支援

### 働くすべての人が生きがいを抱ける就労環境

- 安心できる労働環境の整備
- 非正規労働者の処遇改善
- 障がい者の就労自立支援
- 女性の活躍支援
- 生活困窮者への支援
- 再犯防止の推進

### 具体的な施策として...

- 就学援助制度について、年収制限や支給項目の対象の拡大をはかるとともに、学校給食の無償化をめざします。
- 単身高齢者が介護事業等の各種サービスの利用に困らないよう、後見・サポートに取り組みます。



～ 人と技術の結びつきが新たな価値を生み出す創造都市をめざす ～

## 成長分野

### アジアに開かれたゲート機能を活かし幅広い人の往来を促す

- 3つのゲート機能の強化
- MICEの推進
- 他都市との交流・連携の強化
- 福岡市の独自観光施策の充実
- 世界に通用する「食産業」の育成

### 人のつながりと先端技術を活かし新しい仕事を生み出し続ける

- 地場企業の成長を促す支援充実
- 起業しやすい環境づくり
- DX社会への対応支援
- 農林水産業の振興
- 事業の育成・拡大を支える基盤整備

### 魅力あふれる空間を形成し都市の価値を高める

- 賑わいと憩いが共存する都心づくり
- 活力あふれる拠点づくり
- 都心部における交通対策
- 交通ネットワークの再構築
- 洗練された街並みの形成
- 自然と調和したまちづくり

### 具体的な施策として...

- 内外から福岡市に訪れた観光客を都心部の回流のみに終わらせないために、市内全域にわたる独自の観光資源を積極的に発掘し、開発支援を強化します。
- オンデマンド交通と生活交通、主軸となる公共交通のそれぞれの結節点を機能強化し、暮らしを支える交通網を強化します。



～ 市民が自ら発言し、議論し、決定する仕組みづくりをめざす ～

## 地域分野

### 市民自治を確立してみんなの声をカタチにする

- 行政と地域とのパートナーシップ強化
- 地域活動の担い手づくり
- 地域が主導するまちづくり活動への支援
- 交通安全の推進と防犯対策
- 各種団体への支援の拡充

### 市民が望む公共サービスを最適な形で提供する

- 行政サービスの利便性向上
- 相談窓口の充実
- 公共の役割の明確化
- 市民負担を軽減した公共施設の維持・建替
- 税・使用料の収納率向上
- 外郭団体改革の推進

### 取り組みが「見える」「分かる」議会をもっと身近な存在に！

- 議会の「見える化」
- 議会の「分かる化」
- 通年議会の実施
- 政治教育の推進
- 議員提案による条例制定

### 具体的な施策として...

- 「共創による地域コミュニティ活性化条例」の主旨を踏まえ、行政と地域との関係性を明確化し、良好で持続可能な地域コミュニティづくりを推進します。
- 高齢者や障がい者など、オンライン申請等に困難を来す方への配慮を確実にい、あらゆる人が申請手続等をスムーズに行えるよう、取り組みを進めます。



～ 一人ひとりの生命と尊厳を守る安心・安全な基盤づくりをめざす ～

## 共生分野

### 市民の生命と暮らしを守る安心・安全なまちづくり

- 平和都市「福岡」の発信
- あらゆる自然災害を見据えたまちの強靱化
- 地域防災力の強化
- ライフラインの確保
- 地球温暖化対策の推進
- 再生可能エネルギーの普及促進
- 廃棄ゴミの軽減

### 一人ひとりの尊厳を守り多様性を大事にする社会づくり

- あらゆる差別の解消
- 多様性を認め合うまちづくり
- ジェンダー平等・男女共同参画の推進
- 子どもの人権が尊重されるまちづくり
- ペットと共生するまちづくり

### 個々の能力と可能性を広げるAI時代を踏まえた教育・人づくり

- 学びの機会の保障
- シティズンシップ教育の推進
- きめ細かな教育の実施
- 市立学校における教育環境整備の推進
- 若者が可能性を広げる機会の創出
- 伝統・文化の振興

### 具体的な施策として...

- 多くの市民が、自身の取り組むべき「温暖化対策」について考え、実践する機会を格段に増やし、カーボンニュートラルをめざす気運を高めます。
- 分割指導等の工夫ができるよう加配教員の配置を拡大するとともに、個々の児童生徒の状況に合わせた様々な授業手法の導入に取り組みます。

